
悔い改めなっ

央 8 4

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悔い改めなっ

【Nコード】

N2962S

【作者名】

央84

【あらすじ】

死んじやった不良少年と、
天然すぎる自称死神のお話。

『ではでは めくるめく地獄にごしよーたい
』

死にました。

耳障りな声が聞こえる。

ああそうか、俺、死んだのか。

じゃあここは死後の世界…？

「ってそんなこと、認めねえぞ！！！」

『そう言われましてもですねえ…、死んでいるのですよ？』

「お前誰だ？」

『私はですねえ、死神…？ですかねえ？』

「いや？つけないよ。」

いやいやいや。

あり得ねえ。

なんで幽。白。みたいになつてんの？

つか、ボ。ンに全く似てねえし。

俺、幼なじみもいねえし。

『だって、わたしもよくわかりませんですよ？新人ですし
「ふざけんなよ、おい」

もしくは、あれか？

神の。ぞ。る世界？？？

いや、あれは違うか。

『ではでは めくるめく、地獄ごしよーたい
「オイ、無視か。オイ！！！」

もう、わけわかんね。

。

死にました。(後書き)

もう、わけわかんね

能天気な死神が書けるのか分らないですねー、はい。

此処はどこですか？

『詳しくは…えと…！これを見てくださいつ！』

まるで告白するように、“自称死神”は手紙をくれた。
封を開けて、俺は手紙を読んだ。

【Dear・新谷^{しんたに}くんへ

地獄へようこそ！歓迎してるよ（笑）

君の担当の子は、頭がちよつとアレだから
手紙を直々に書いたわけだが…。

君は、死んで一週間たつね。

だから君にもう一度違う人間となつて、生まれ変わr…

生まれ変わ…。甦る！甦る試験を受けてもらってもいいが、
どうするかね（笑）？

生まれ変わりたい？ねえ、生まれ変わりたい！？

なら、ちゃんと更生することを誓いなよ

from・閻魔大王】

「ああそうか…

って！ノリ軽っ！！！！」

『ちなみに、私のパパです。』

「は、名前間違ってるし。」

『正しくは湊谷みなたにですよねえ』

「ああ、そうだ！」

『で、試験はどうしますかあ？』

「もちろん受けるが。」

更生はしねえけど。

。

試験とかあるんですw

「で、此处。何？どこ？」

“自称死神”に連れて行かれたところは、何だか教室のような…。

『テストを受けてください！』

「は？内容は！？」

『大丈夫です、まともな人なら出来ますから』

いや、まともじゃないし。

俺は不良だし。

『とにかく行ってください！ほら！Let's Go!』

「いやいやいや！ふざけんなって！」

『ふざけてませーん！』

そういつて、無理やり教室のようなところに入れられた。

で、テスト…？

あり得ねえほど難しかったよ…。

ぜってえぶっ殺す！

『お疲れ様です！はいはいこちらに来て下さいよう！』

「は？てめえ！ふざけやがって！めちやくちゃ難しかったじゃねえかよ！」

『くくく』

「無視るな！」

腹が立つことに“自称死神”は、俺の話を聞きやしない。
気がつくと、部屋に案内されていた。

「は、ここどこだ？」

うす暗く、神秘的なその空間は俺の思考を狂わせる。

『人間っていう“もの”は、なんでも聞きたがるんですねえ！
今からが、本試験。別名・心理試験ですよ。』

いきなり口調が変わった“自称死神”は、俺と反対側に座る。

『では、始めます。』

なんだかイライラしてきた…な。

.

END なのです？

「貴方は人を何人も殺めたいですか？」

「そりゃ、ム力ついたらな。」

「貴方は生まれ変わりたいですか」

「ああ、もちろん」

「貴方の三本柱は？」

「憎悪・復讐・憤怒…か？あと暴力」

「わかりました、こちらへどうぞ」

「はあ？」

導かれた所は、赤い扉と青い扉。

「さあさあさあ！

お好きな方を選んでねっ」

「ああ…？」

俺が選んだのは赤い扉。

そして、それを開け、足を進めた。

「どちらの扉も行きつく先は同じでございます。
そして、貴方には更生の余地がない。
悔い改めなさい。醜い人間の魂よ。」

「お前っ・・・！」

嗚呼、分かった。

あいつは“自称死神”なんかじゃねえ。

閻魔大王だ。

そして俺は地獄へと落ちていった。

ENDなのです？（後書き）

うわーBADENDしか考えられない！

タグを大幅書き替えしないと！！

お付き合いいただいた方！！

本当にありがとうございました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2962s/>

悔い改めなっ

2011年10月8日21時34分発行